

視察等報告（復命）書

三次市議会議員 様

報告者氏名 小田伸次

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	小田	経理責任者	藤井
視察議員	小田 伸次			
期 間	令和6年 1月31日(水)～ 令和6年 2月2日(金)			
視 察 先	衆・参議院議員会館、銚子電鉄、こども家庭庁、渋谷QWS(キューズ)			
視 察 用 務	特別交付税陳情・鉄道経営継続手法、こども家庭庁政策について 渋谷QWSの役割			
視察先対応者	県内選出国會議員、銚子電鉄常務取締役 柏木氏、 こども家庭庁 新井氏、渋谷QWS 山崎氏・佐藤氏			
概要及び所見	各国会議員及び事務所に特別交付税増額の要望書を提出する。 銚子電鉄に乗車し駅舎内で庄原市にもお越しになられた柏木氏による レクチャーを受けました。鉄道業務は赤字だがぬれ煎餅などの売り上げ が好調なので鉄道経営継続が出来ているとの事でありました。 銚子電鉄と銘打っていても鉄道業務以外の営業で経営が成り立っている 「エンターテイメント会社」としての面が大きいと感じた。芸備線継続 にこの手法が有効かもしくは取り入れられるかはいささか疑問であ る。いずれにしても利用者が少なければ鉄道業務の継続は難しい。 こども家庭庁を創設し「こどもまんなか」をスローガンに政策展開し ようとするものだが、この事だの解釈を間違えばとても難しいものにな りそうである。抽象的表現が多い感じがした。もっと家庭の有り様や 意義についての取り組みが必要の様に思える。 渋谷QWSには本市も会員となっており、これからの自治体の発展維持 に大きな可能性を持った組織(場所)と感じたが、問題はいかにこの組織 を利用するかアイデアと熱意が必要であろう。若い職員等の本市にか ける熱意と行動力に大いに期待するものです。			

令和6年2月9日

三次市議会

議長 山村 恵美子 様

三次市議会 会派ともえ

新家 良和

会派代表者 小田

経理責任者

藤井

3 会派行政視察報告書

- ◆視察日程：R6年1月31日（水）～2月2日（金）
- ◆視 察 先：衆議院第1会館、参議院会館、銚子電気鉄道株式会社
- ◆視察内容：1. 特別交付税増額要望（1月31日）
2. 銚子電気鉄道視察、意見交換（2月1日）
3. 研修：こども政策について～こども基本法・こども大綱等～（2月2日）
- ◆視察議員：ともえ（小田 伸次、新家 良和、弓掛 元、藤井 憲一朗、月橋 寿文）
真正会（杉原 利明、齊木 亨、鈴木 深由貴、横光 春市）
公明党（黒木 靖治）

1. 特別交付税増額要望について

R5年度特別交付税の増額要望書（45.8億円）を、地元選出国會議員（本人又は秘書）に手渡し、要望活動を行った。

<衆議院>・岸田文雄、・石橋林太郎、・寺田稔、・小島敏文、・小林史明、・佐藤公治、・畦元将吾、・平林晃、・齋藤鉄夫

<参議院>・宮澤洋一、・越智俊之、・森本真治、・三上絵里、・宮口治子

2. 銚子電気鉄道視察、意見交換について（~~林田~~ 常務取締役）

今回の銚子電鉄視察のきっかけは、昨年12月9日（土）庄原市民会館で行われた「備後庄原駅・銚子電鉄100周年記念事業」に参加し、銚子電鉄製作超C級映画「電車を止めるな」の鑑賞と~~林田~~社長のトークショーを聞いたことにある。

銚子電鉄の開業は1923年（大正12年）で、昨年開業100年を迎えた私企業である。銚子と外川間6.4kmを、10駅で結ぶローカル鉄道である。電車も駅舎もお世辞にもきれいとは言えず、それを逆手に取った経営戦略を垣間見た気がする。過去の歴史の中

で、幾度となく倒産・廃線の危機に遭遇しながら、その都度乗り越えてきた力強さを感じた。銚子電鉄の取組が、芸備線存続の参考にならないかと思いながら視察を行った。

仲の町駅にある銚子電鉄本社は我々5名を受け入れる会議室がなく、犬吠駅の会議室でレクチャーを受けた。それでも5名でぎりぎりの会議室であり、企業経営の厳しさが理解できる気がした。犬吠から銚子迄9駅間の乗車を経験したが、本当に乗客数は少なく小学校の児童が7～8人程度と一般乗客を合わせても、2両編成で20名程度の乗客数であった。

常務が言われた「銚子電鉄の経営を一言で表すと、電車屋なのに“自転車操業”や「銚子電鉄は電車屋ではなく煎餅屋である」に代表されるように、自虐+ギャグ=自ギャクを徹底してやられているように受け止めた。沿線の各駅の表示も、駅名+スポンサー企業名とギャグの呼称がついていたのも特徴的であった。H7年に鉄道部門の赤字を補うため「ぬれ煎餅」を、H30年から「まずい棒」の販売を開始している。昨年度の売上6.5億円のうち本業の鉄道売り上げは1.2億円と売り上げの20%に満たず、80%強がぬれ煎餅等の収入である。鉄道の売り上げも90%は観光客であり、地域住民の利用増も期待できず、今後もこの傾向は続くと感じた。

「ぬれ煎餅を買って下さい。電車修理代稼がなくちゃ、いけないんです。」と大々的に情報発信するなど、本業以外への進出が会社を救うことに繋がったことは「絶対にあきらめない⇒行動すること」の精神があったからと感じた。全社員65名の内35名が煎餅部門に従事し、自社工場も有している。本業の鉄道部門は30名（内、運転手：4名、車掌：3名）と伺った。地域鉄道の最大の使命は地域貢献であるとし、乗って楽しいエンタメ鉄道を目指すとしている。イルミネーション電車、本格的電車お化け屋敷、きやりーばみゅばみゅさん電車の運行、24時間テレビでタレント・ヒロミによる本銚子駅のリフォームなどいろいろな仕掛けも行っている。

「一度失われた鉄道は二度と戻ってこない。鉄道の灯火を守るべく、全力を挙げて挑戦を続ける。」と話を結ばれた。本当に鉄道を守るという強い気持ちを持った人がいなければ、銚子鉄道のように倒産寸前から立ち直れることは不可能である。JR西日本にその意向はないと考える。芸備線備後庄原～備中神代間の再構築協議会が開始となる。銚子電鉄再建とは逆の立場で、沿線自治体や沿線住民が鉄道を守るという強い気持ちで対応できるのか、極めて疑問である。地域公共交通の今後のあり方について、大変難しい課題であると感じた。

3. こども政策について ～こども基本法・こども大綱等～

(こども家庭庁 参事官補佐)

こども家庭庁の参事官補佐より、こども政策、特に子ども基本法・こども大綱につ

いて説明を受け質疑を行った。

こども家庭庁は、昨年4月1日に設置された組織である。我が国の「少子化」等が大きな問題となり、岸田政権の重要政策の一つとなった。こども家庭庁の役割として、①こども政策の司令塔としての総合調整（例：少子化対策など）、②省庁の縦割り打破、新しい政策課題や隙間事案への対応（例：幼児期までのこどもの育ち指針など）、③保健・福祉分野を中心とする事業の実施（例：こどもの貧困対策・自殺対策など）がある。

こども基本法に基づき昨年12月22日、「こども大綱」が閣議決定された。こども大綱は、これまで別々に作成・推進されてきた「少子化社会対策大綱」、「子供・若者育成支援推進大綱」及び「子供の貧困対策に関する大綱」を一つに束ね、こども施策に関する基本的な方針や重要事項等を一元的に定めるものである。こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」実現に向け、取組むことになる。

こども家庭庁は、「自治体こども計画策定」を支援するとしている。早期にこども計画の策定を進める地方自治体を重点的に支援し、R5年度当初予算0.7億円、同補正予算1.3億円、R6年度当初予算（案）0.7億円を計上している。市町村には補助率1/2で150万円の支援があり、42自治体が採択している。三次市におけるこども計画策定の情報は聞いていない。三次市には、酷似した取組に「ネウボラ三次」がある。こども計画策定との関連をどう扱うのか、注視しておきたい。

遅まきながらこども家庭庁が設置されたことに、一定の評価を行いたい。少子化を始め課題としている内容は、問題提起されて久しい。国の取組は、20～30年遅れているのではないかと感じる。三次市の「ネウボラみよし」の取組も、少子化の歯止めには繋がっていない。若者のニーズの多様化、所得や仕事の関係、晩婚化や未婚者の増等々、色々事情がある。こども家庭庁の取組が、少子化をはじめ各種課題の解決に繋がるのか、極めて疑問に感じた研修であった。

以上

陳情・研修等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

弓 掛 元

下記のとおり、陳情・研修が終了したので報告します。

	会派代表者	小田伸次	経理責任者	藤井憲一郎
視 察 議 員	弓掛 元			
期 間	令和6年1月31日（水）～2月2日（金）			
陳情・研修先	衆議院議員・参議院議員・銚子鉄道・こども家庭庁			
陳情・研修要務	地元選出国會議員へ特別交付税の増額要望・銚子鉄道経営手法・こども家庭庁でこども政策について			
研修講師	各議員・銚子鉄道常務取締役相[REDACTED] こども家庭庁参事官 菊[REDACTED] [REDACTED]			
概要及び所見	衆議院・参議院各議員会館にて小島敏文議員ほか広島県選出の国會議員に特別交付税の増額要望を行いました。特に小島先生には時間を取って頂き各種要望・意見交換をさせていただきました。 銚子電鉄においてローカル線で破綻寸前から奇跡の復活を遂げられた経緯を詳しく教授頂いた。芸備線存続の参考に多いなと確信した。 新しく始まったこども家庭庁においてはその概要や基本方針を教授いただき、意見交換もしっかりとして頂いた。			

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 藤井 憲一郎

下記の通り、3会派による視察が終了したので報告します。

記

視察議員 (会派ともえ) 新家良和 小田伸次 弓掛元 藤井憲一郎 月橋寿文
(真正会) 杉原利明 斎木享 鈴木深由希 横光春市
(公明党) 黒木靖治

期間 令和6年1月31日(水)～令和6年2月2日(金)

視察先 衆議院第一議員会館 参議院議員会館 銚子電気鉄道株式会社 渋谷QWS

視察用務

- ①地元選出国會議員への特別交付税増額陳情
- ②銚子電気鉄道株式会社への訪問、視察・研修、意見交換
- ③研修(こども政策について)

視察先対応者 ① (衆議院)小島敏文 石橋林太郎 小林史明 岸田文雄 寺田稔
佐藤公治 畦元将吾 平林晃 斎藤鉄夫
(参議院)宮沢洋一 越智俊之 森本真治 三上絵里 宮口治子

②銚子電気鉄道株式会社 菅原亮常務

③こども家庭庁 官房参事官付参事官補佐

概要及び所見

①令和5年度特別交付税の増額要望書(45.8億円)を、広島県選出衆参国會議員へ手渡し陳情した。

②過疎地域の公共交通機関について、本市でもJR線の存続が課題となっている中で、鉄路の存続という困難をバイタリティで克服してきた「銚子電鉄」を訪れ、その手法や収支、事業内容についてご教授いただいた。

昨年12月、庄原市において「備後庄原駅・銚子電鉄100周年記念事業」が行われた。社長とも少し会話は出来たが、自主制作映画を作ったり、濡れ煎餅を売ったり、ノベルティグッズがあったりと、一体事業形態はどうなっているのかを知り、それがヒントになればとの思いであった。

電車は超レトロ(ボロボロ)で駅舎も古いが、醤油工場の匂いと相まってそこが魅力に見えてくる。実際に切符を買い、総延長6.4kmを体験乗車してみた。海岸沿いを走る訳でもなく、決して景観が良い訳でも無い。利用者はほぼ通学児童生徒と「乗り鉄」が占めており、鉄道の売上は総売上の20%しかない。それでも、駅名のネーミングライツや幽霊電車、タレントとのコラボ企画、犬吠埼という景勝地に駅がある事などで「観光列車(エンタメ列車)」と割り切って運営しているとの事であった。

その犬吠駅の会議室で柏木常務と意見交換をさせて頂く中で感じたのは「明るさ」である。幾度も廃線や倒産の危機に遭いながらも「濡れ煎餅」を代表とするアイデアと多角経営で乗り切った自信と、自虐ネタの連発で大いに盛り上がった意見交換となった。

庄原市との関係性は、備北交通さんと懇意であるとの事。イベント時には相互にグッズ販売をする事や、公共交通会議にもオブザーバー出席しているようである。レジュメの最後に「一度失われた鉄路は二度と戻って来ない」の文言があり、本市の状況はまだまだ困難な状況であると感じた。

③こども家庭庁は令和5年4月1日に設置された。「こどもまんなか社会」の実現の為、関係省庁横断型の組織として設置されたと認識している。少子化対策や育成支援、貧困対策などを一元的にという発想である。本市には「ネウボラ三次」という取組が既にあるが、新たに各自治体への支援策も用意されている。

少子化については持論がある。時間まで俯瞰で見ると、既に人類は縮小するフェーズに入っており、豊かになった以上致し方ないと思っている。目先の事だけではなく、国策として人口が減っても「ウェルビーイング」な世の中を作っていくよう、舵を切るべきだと本心では思っている。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

月橋寿文

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	小田	経理責任者	藤井
視 察 議 員	ともえ 5名 小田・新家・弓掛・藤井・月橋			
期 間	令和6年1月31日（水）～ 令和6年2月2日（金）			
視 察 先	1 銚子電気鉄道株式会社 2 こども家庭庁 3 渋谷キューズ			
視 察 用 務	地方鉄道や企業の取組を研修し、三次市政に活かす			
視察先対応者	1 銚子電気鉄道株式会社 常務取締役 [REDACTED] 2 こども家庭庁 長官官房参事官付参事官補佐 新田 [REDACTED] 3 渋谷キューズ [REDACTED] 課長 木村 [REDACTED] 三次市官民共創 DX コンソーシアム コーディネーター [REDACTED]			
概要及び所見	1 銚子電気鉄道株式会社 絶対にあきらめない ～崖っぷち銚子電鉄のサバイバル経営～ 開業 1923年（大正12年） 開業100年 区間： 銚子～外川 6.4km 10駅 時速40km まずい棒 販売累計450万本 自虐＋ギャグ 地元利用は、1割 9割は観光 めれ煎餅の売上が5億円 赤字を補う 社長の業務上横領が発覚 1億円の負債 めれ煎餅ブーム 東日本大震災 乗って楽しい日本一のエンタメ鉄道を目指す エンターテイメント⇒おもてなし 観光客 23万人 目的がないと来ない この町にあって良かった「ありがとう銚子電鉄」と言ってもらえる会社 銚子電鉄は、公共交通機関であるが、私企業であるため 資本の理論からは逃れられない			

ブランド化して、様々なワクワク楽しいを提供し、挑戦されている
一度失われた鉄路は、二度と戻って来ない

2 こども家庭庁

こども家庭庁 こどもの視点、子育て当事者の視点に立った政策の企画
立案・総合調整

こども大綱 こどもまんなか社会

こども未来戦略

- ・児童手当の拡充

所得制限の撤廃 高校生年代まで延長 第3子以降は3万円

- ・妊婦・出産時からの支援強化

出産・子育て応援交付金 伴走型相談支援

- ・出産費用の軽減

出産育児一時金の引き上げ 42万円⇒50万円

- ・高等教育の負担軽減を拡大

多子世帯の学生等については授業料等は無償化

- ・こども誰でも通園制度を創設
- ・保育所 量の拡大から質の向上へ

1歳児 6対1⇒5対1

4・5歳児 30対1⇒25対1

保育士等の更なる処遇改善

小1の壁 打破に向けた放課後児童クラブの質・量の拡充

- ・多様な支援ニーズへの対応 貧困、虐待、障害児、医療的ケア児

3 渋谷キューズ

SHIBUYA QWS という名称は、question with sensibility

問いの感性の頭文字 物事の本質を探究し、常に問い続けることが、新しい価値につながる原点になる

自らの問いに出会い、磨き、放つことで社会を変えていく力を創造したいという理念を持った会社

情報発信するだけでなく、様々な方との出会いの場

移住定住だけでなく、観光やDXなどの可能性が感じられる場

ただし、三次市が積極的に活用していかなければならないし、結局は人と人との関係であるので、市長や職員の取り組み方が大切

